

金城大学との議会報告会で寄せられた意見について（令和5年12月協議）

（テーマ）

- ・住み続けたいと思うまちづくり

No	金城大学学生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	保育士として働くのにあたって、人間関係や保護者の対応など不安がある。悩みごとを相談しやすい体制があるとよい。	白山市の保育所などでは、職員同士が気軽に話し合い、保育について語り合える風通しのよい職場づくりを目指しており、毎日の朝礼などでの連絡や、同僚、クラス担任同士のミーティングなど、保育士間の情報共有ができる体制をとっています。また、個別で不安な悩みがあったときは、同僚やクラス担任だけでなく、経験豊富な園長、主任に気軽に相談できる環境づくりにも努めてまいります。
2	ジオパークが世界認定されたので見て回りたい。学生でも気軽に参加できるようなツアーやイベントを増やすことはできないか。また、情報発信も積極的に行ってほしい。	令和6年に4回開催を予定している「大人のジオ遠足」については、学生の方々をはじめ、より多くの方が気軽に参加できるよう、バスなどの費用は市で負担し、体験料や昼食代などの実費のみ負担いただいています。 また例年、白山手取川ジオパークの公認観光ガイド養成講座を金城大学で開催しており、令和5年度受講者が21名のうち大学生は6名です。この講座では、現地研修やツアー造成なども行っており、学生の方々に同年代向けのツアーを御提案いただくなど、若い視点でジオパーク活動に主体的に取り組んでもらえるよう工夫していきます。